

利用・用途・応用分野

無料開放特許

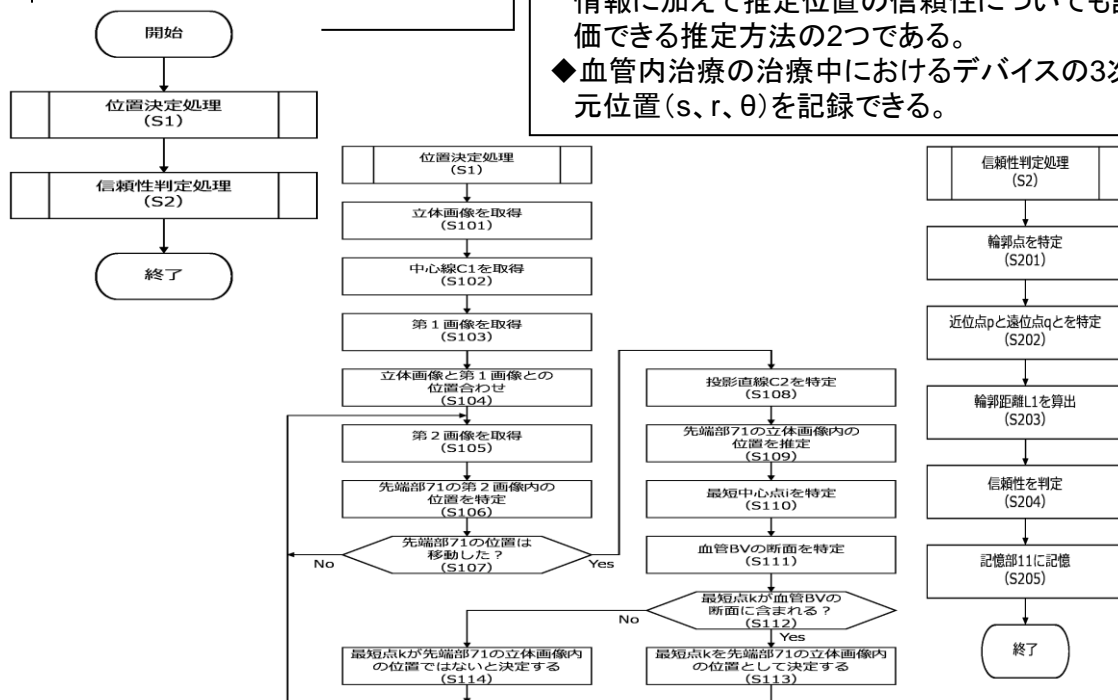
血管内治療、診断

目的・課題

特別の装置を必要とせず、X線透視画像のみから血管内の血管内治療器具の位置の推定計算に掛かる処理負担を軽減することを目的とする。

解決ポイント

- ◆本法は位置決定処理S1と信頼性判定処理S2からなる。
- ◆推定された位置情報の信頼性について評価しない、より簡便な位置情報の推定方法と、位置情報に加えて推定位置の信頼性についても評価できる推定方法の2つである。
- ◆血管内治療の治療中におけるデバイスの3次元位置(s, r,  $\theta$ )を記録できる。



研究概要・アピールポイント

- ◆血管内治療器具の3次元位置を表現する方法とその計算方法であり、臨床医の治療時に役立つデータを提供できる。
- ◆推定された位置に基づき一般的な制御方法やデバイス稼働方法を付加することによりデバイスを病変部まで安全に且つ自動的にナビゲーションできるシステム構築ができる

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティールオー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp